

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY + 平野校			
○保護者評価実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和8年9月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和8年9月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年9月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様への安心感	まずはお子様本人が楽しいと感じる安心できる場所を提供することを第一に考え、スタッフと保護者様のコミュニケーションはもちろん、お子様が安心して通う姿をみて保護者様にもご安心いただけるような環境作りを心がけています。	保護者様との関わりにおいては、スタッフによって偏りがあるため、ママキラ会等のイベントを定期的開催し、スタッフ全員を深く知っていただく機会をつくり、保護者様への安心感に繋げていきたいと考えております。
2	研修制度	月に1回、全スタッフを対象とした研修を設けるほか、スタッフの年齢や経験に応じて外部の研修制度を利用し、学びを深める機会を設けています。	スタッフ目線で必要としている知識や内容の研修制度を自分たちで考えており、今後実施予定となっております。
3	支援の内容	支援計画作成時や日々の送迎時に保護者様とお話させていただくことで日々のお子様の様子を共有し、個々に合った関わりが出来るよう努めています。	本人にニーズの聞き取りを定期的に行うことにより、本人のためになる支援を行うことが出来るのではないかと考える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	相談支援なども事務所との連携が薄い	ご利用者様で相談支援をご利用している方が少なく、ご利用している場合でも双方から連絡する機会が少ない。	今後は相談支援員の方とも支援計画やモニタリングなどの共有をさせていただき、密な連携を取っていき、ご利用者様のより良い支援へと繋げていく。
2	事故防止や緊急時対応マニュアルの周知	定期的の確認を行い、お便りやSNSなどを通じて緊急時の対応確認を行う。保護者様との確認も怠ること内容にないように対応する。	全スタッフへの周知徹底の必要がある。